

**テレビ視聴行動に関する  
マーケティングデータ  
～録画・BS放送視聴編～**

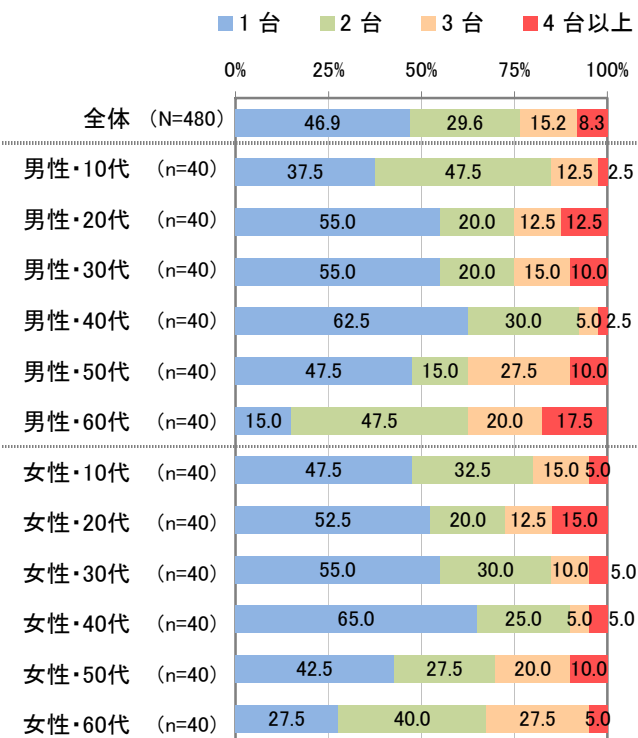
朝日大学マーケティング研究所

## 調査概要

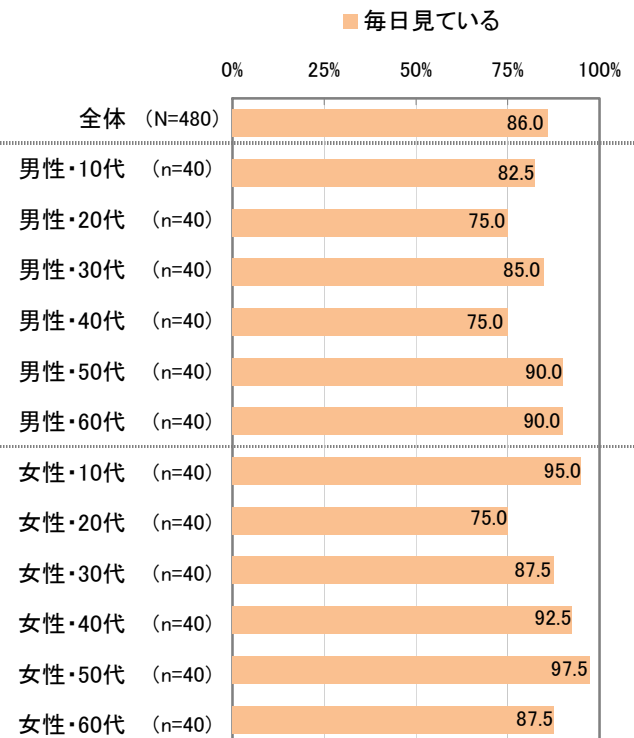
- 調査方法      Webアンケート
- 調査期間      2012年3月2日（金）～3月9日（金）
- 調査対象      首都圏在住の13歳～69歳男女で、以下の条件にあてはまる人  
                     ・自宅に地上波デジタル対応のテレビがある  
                     ※ただし、テレビをまったく見ない人は除く
- 有効回答      合計480名（均等割付）

年代	男性	女性
13～19歳	40名	40名
20～29歳	40名	40名
30～39歳	40名	40名
40～49歳	40名	40名
50～59歳	40名	40名
60～69歳	40名	40名
合計	240名	240名

参考：自宅で利用しているテレビの台数



参考：テレビ番組を毎日見ている割合



# 1. テレビ番組の録画方法と録画頻度

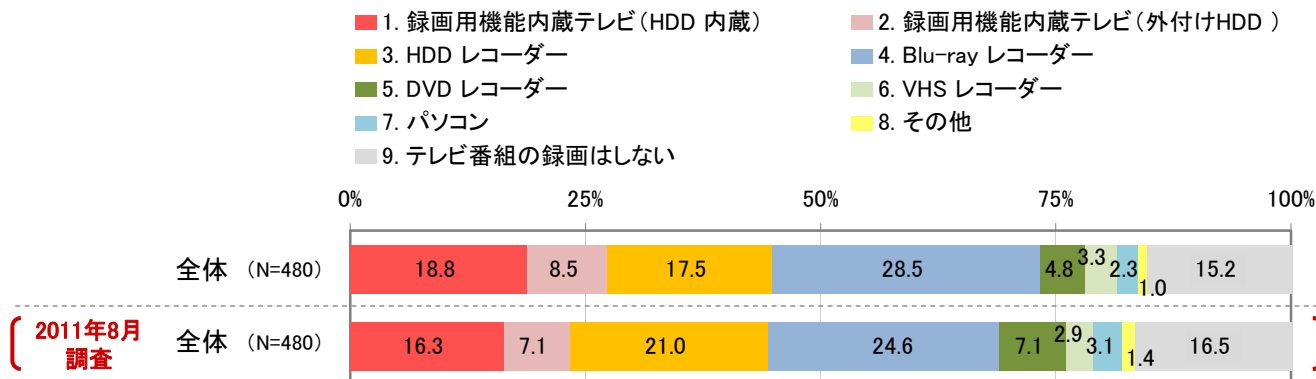
録画機能内蔵テレビ、Blu-rayレコーダーの割合が増加。

■「テレビ番組を録画するのに主に利用している機器」は、2011年8月調査と比較して、「録画機能内蔵テレビ(HDD内蔵)」が16.3%から18.8%に、「録画機能内蔵テレビ(外付けHDD)」が7.1%から8.5%に、「Blu-rayレコーダー」が24.6%から28.5%に、それぞれ増えている。

■録画頻度は前回とほぼ変わらず、男性よりも女性のほうが録画頻度が高い傾向も共通である。

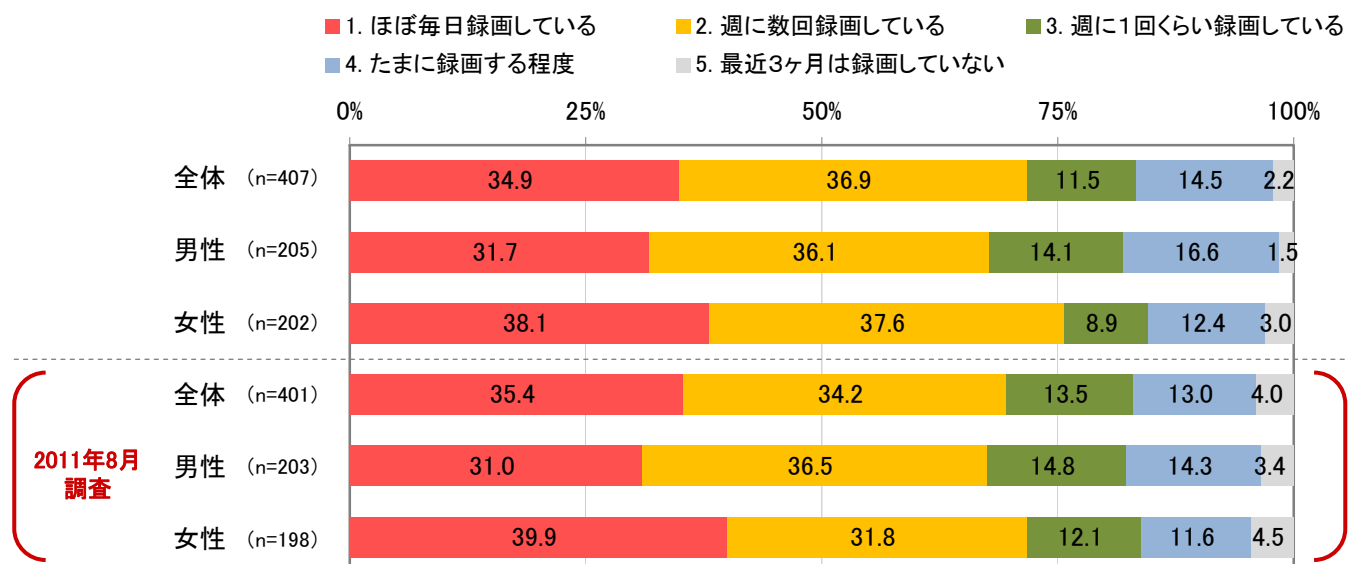
■テレビ番組を録画する人の83.3%は最近3ヶ月で週に1回以上録画している。これは、全サンプルの70.6%にあたる。

## テレビ番組を録画するのに主に利用している機器



## 最近3ヶ月間のテレビ番組の録画頻度

※テレビ番組の録画をする人のみ



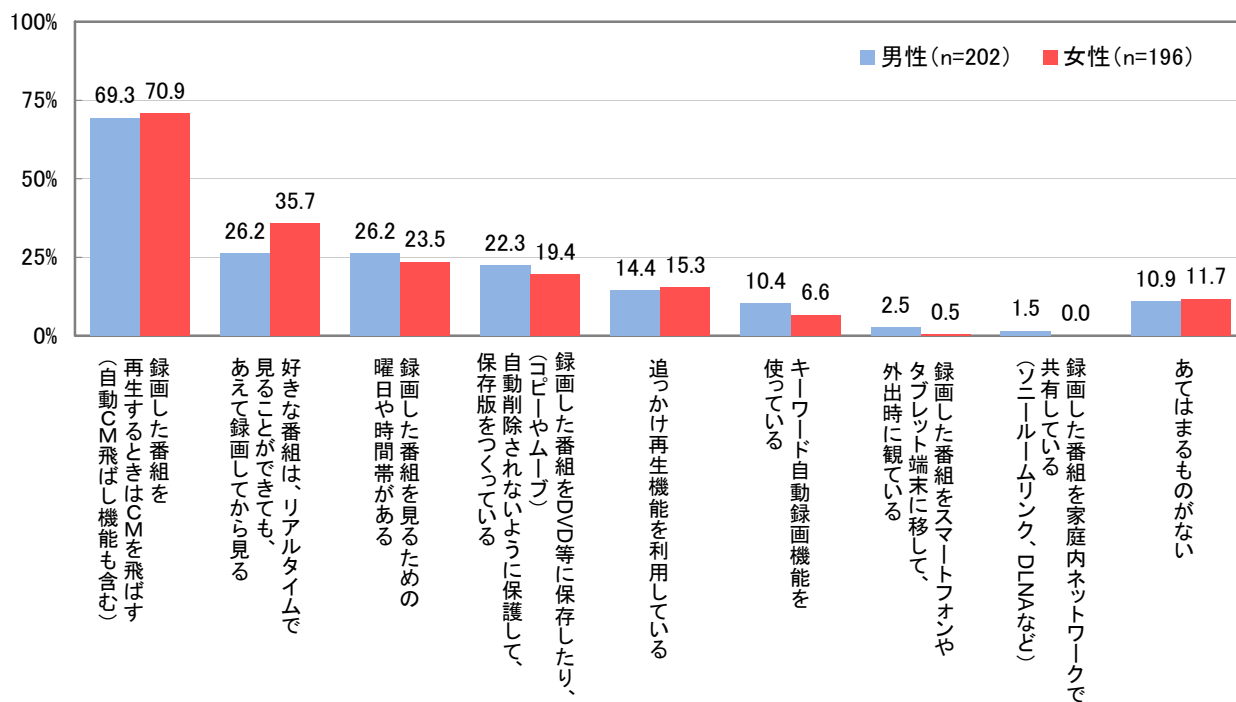
## 2. 録画行動と、録画番組の消化率(1)

7割が録画した番組を再生する際にCMを飛ばしている。約半数は録画した番組をほぼ全番組観ている。

- 男女ともほぼ7割の人が「録画した番組を再生するときはCMを飛ばす」と回答した。
- 「好きな番組は、リアルタイムで見ることができても、あえて録画してから見る」は女性のほうが35.7%と、男性よりも9.5%高い。
- 「録画したものは、ほぼ全番組見る」は、最近3ヶ月以内にテレビ番組を録画した人の52.8%。「7割以上の番組を見ている」を広げると、87.0%になる。

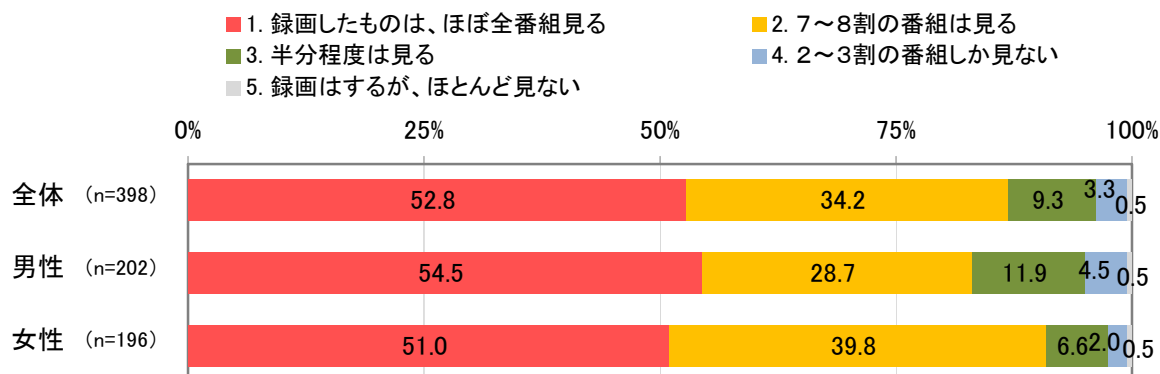
### テレビ番組の録画について、あてはまるもの

※最近3ヶ月以内にテレビ番組を録画した人



### 録画したテレビ番組の消化率

※最近3ヶ月以内にテレビ番組を録画した人



### 3. 録画行動と、録画番組の消化率(2)

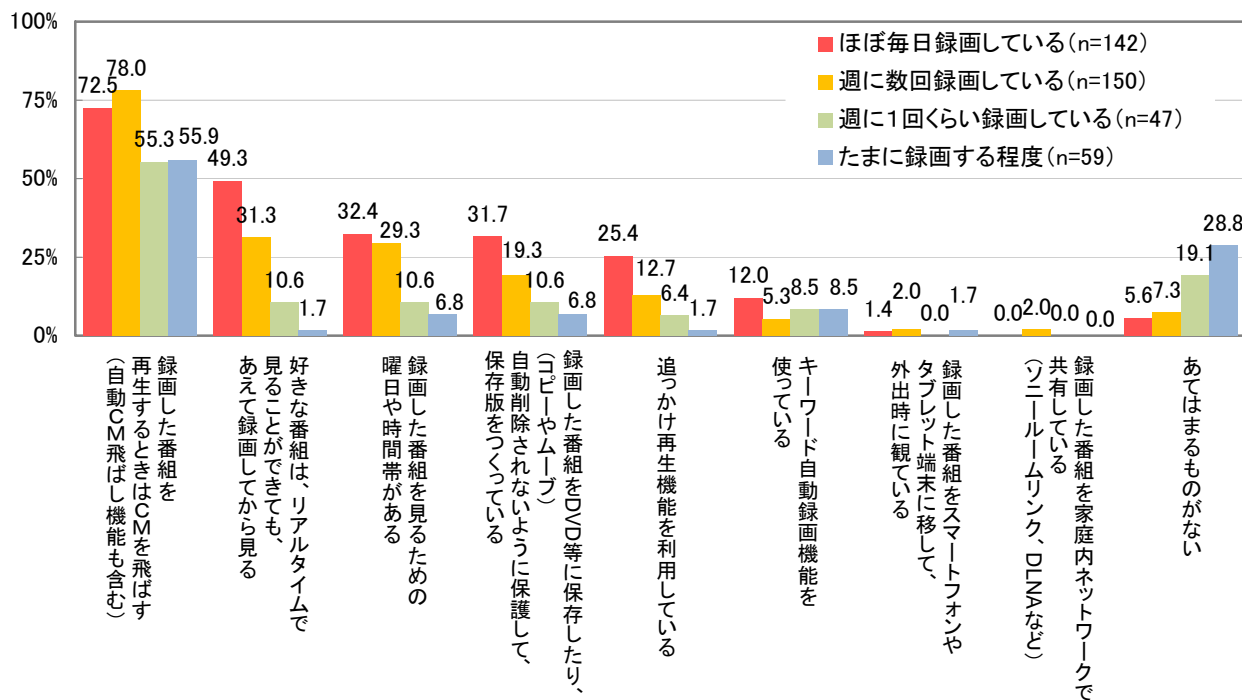
録画しない人も含めた全体の14.6%は、「タイムシフト視聴層」である。

■最近3ヶ月の録画頻度が「ほぼ毎日」だった人のうち、49.3%は「好きな番組は、リアルタイムで見ることができても、あえて録画してから見る」と回答している。この「ほぼ毎日録画し、かつ、好きな番組はあえて録画してから見る」という「タイムシフト視聴層」は、録画しない人も含めた全体の14.6%にあたる。

■録画頻度が高い人ほど、録画消化率も高い。「ほぼ毎日録画し、かつ、録画したほぼ全番組を見る」は、録画しない人も含めた全体の18.1%にあたる。

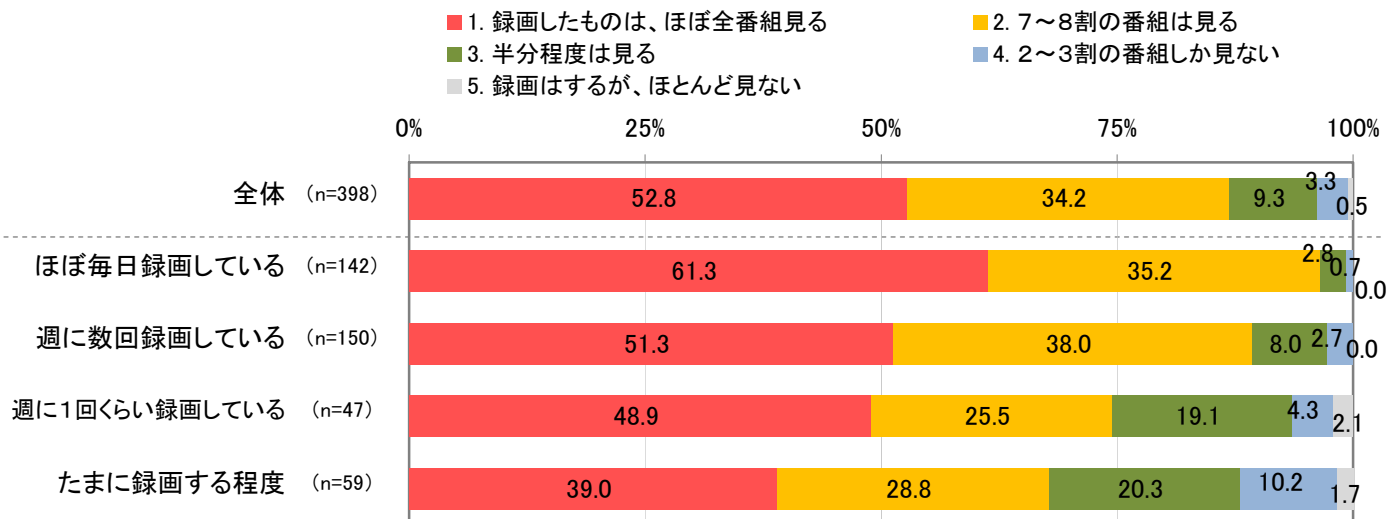
#### テレビ番組の録画について、あてはまるもの(最近3ヶ月の録画頻度別)

※最近3ヶ月以内にテレビ番組を録画した人



#### 録画したテレビ番組の消化率(最近3ヶ月の録画頻度別)

※最近3ヶ月以内にテレビ番組を録画した人



## 4. BSデジタル放送の視聴

40.2%が自宅テレビの地デジ化で、BSデジタル放送を見る機会が増えた。(そもそもBSデジタル放送を観られない人を除く)

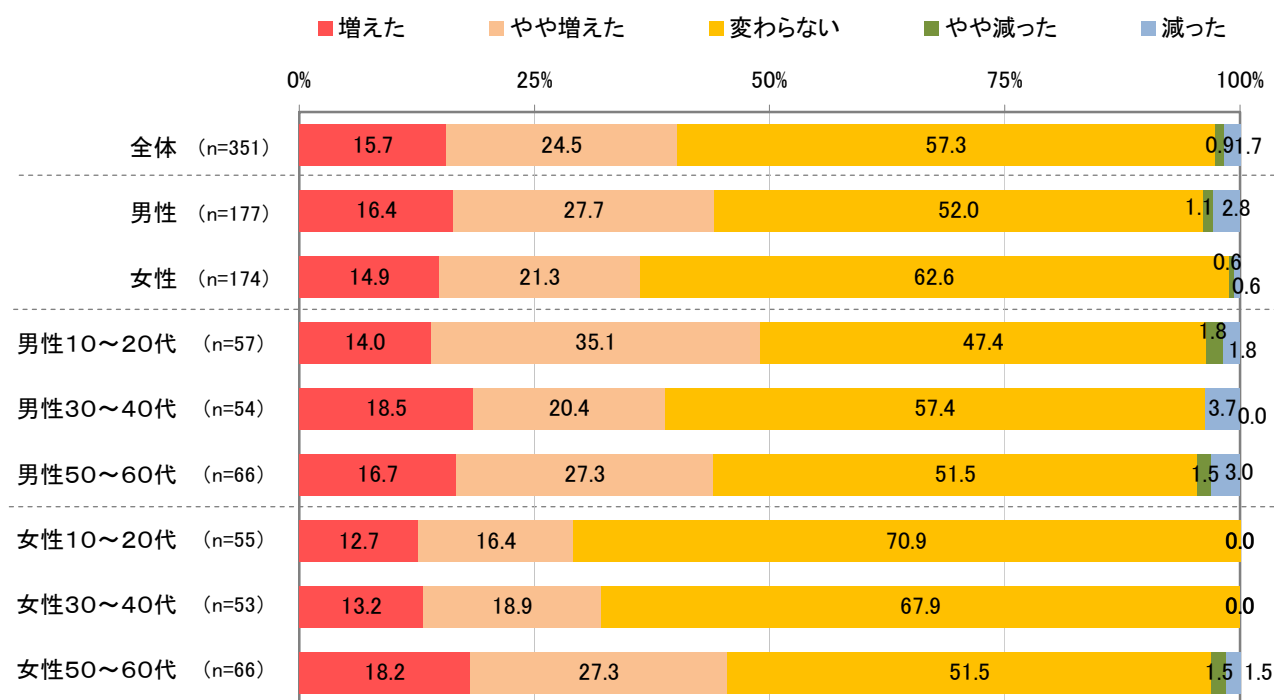
■そもそもBSデジタル放送を観られない人を除くと、40.2%が自宅テレビの地デジ化でBSデジタル放送を見る機会が増えた(「増えた15.7%」「やや増えた24.5%」)と回答。これはBSデジタル放送が観られない人を含めた全体の29.4%にあたる。

■男女別では、男性のほうが増えた(「増えた16.4%」「やや増えた27.7%」)とする割合が高い。

■女性は年齢の高い層で増えたとする割合が高い傾向がある。

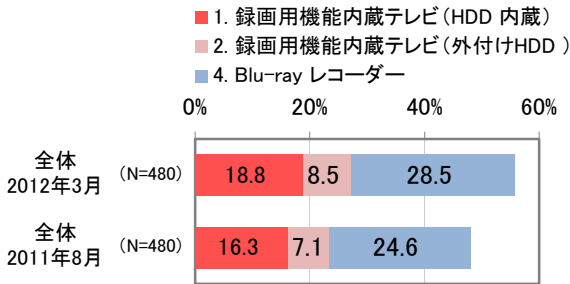
### 自宅テレビの地デジ化で、BSデジタル放送を見る機会はどうなったか

※そもそもBSデジタル放送を観られない人を除く



**結果① 録画機能内蔵テレビ、Blu-rayレコーダーの割合が増加**

主なテレビ番組の録画方法(抜粋)

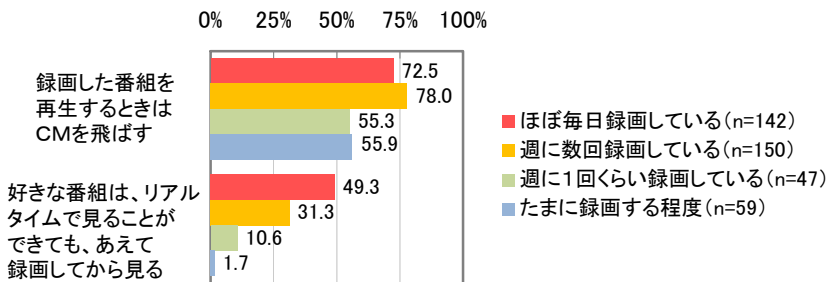


録画環境は、この半年でさらに進んだ。主なテレビ番組の録画方法は「録画機能内蔵テレビ (HDD内蔵)」「録画機能内蔵テレビ (外付けHDD)」「Blu-rayレコーダー」の3種類で55.8%になっている。

録画しない人も含め、全体の3割は、ほぼ毎日テレビ番組を録画しており、週1回以上録画する人まで広げると7割に達する。

**結果② 全体の14.6%は「タイムシフト視聴層」、録画する人の7割が「CMを飛ばす」**

テレビ番組の録画について、あてはまるもの(抜粋)

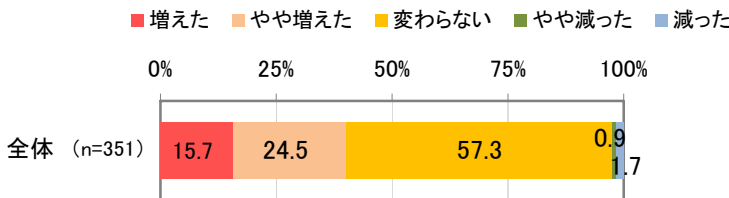


録画した番組を再生する場合は、7割がCMを飛ばして観ている。

録画頻度の高い人ほど、「あえて録画して見る」傾向がある。「ほぼ毎日録画し、かつ、好きな番組はあえて録画してから見る」という「タイムシフト視聴層」は録画しない人も含めた全体の14.6%にのぼる。

**結果③ BSデジタル放送を見る機会が増えている**

自宅テレビの地デジ化で、BSデジタル放送を見る機会はどうなったか



地デジ対応がきっかけでBSデジタル放送の視聴が増えている。野球中継の地上波からの移行や紀行番組、過去のドラマの再放送など、コンテンツがひとつの要因だろう。

**結果から推測される仮説**

■地上波デジタル放送への移行に伴う簡単録画機能の普及で、視聴者の録画環境は大きく変化した。録画番組の再生時にCMを飛ばす、好きな番組はあえて録画して見るなど、いわゆる「編成権」を視聴者が持つケースが増えつつある。こうした変化は、4月から始まった「もっとTV」などの見逃し型の動画配信サービスにとって大きな障壁となると推測される。「好きな番組は、リアルタイムで見ることができても、あえて録画してから見る」という新しい視聴習慣も注目である。また、平日の昼、深夜といった時間帯も録画を通じて接触する機会が増えていると考えられ、こうした時間帯がテレビ局の編成に与える影響も増してくると思われる。

■地上波デジタル放送移行に伴い、BSデジタル放送の視聴が増えている。視聴可能な環境が整ったことに加えて、野球中継や紀行番組、再放送ドラマなどのコンテンツが、男性は全年齢的に、女性は比較的高齢層に刺さっている。しかしながら、BSをはじめとする無料放送のチャンネル増加は、ますます視聴の分散化を促すことになる。地上波放送との棲み分けと、ターゲットの明確化をどのように行うか、注目したい。

## トピックスリサーチ

テレビ視聴行動に関する  
マーケティングデータ  
～録画・BS放送視聴編～

---

発行日 2012年 4月 6日

---

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所  
〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20  
朝日丸の内ビル2F  
TEL : 052-961-4576

---

お問い合わせ [apost@dance.ocn.ne.jp](mailto:apost@dance.ocn.ne.jp)